

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	南関町教育委員会教育課生涯学習係		
所在地	熊本県玉名郡南関町	運営形態	県・市区町村運営型
運営主体	南関町教育委員会		
課題	本町における部活動加入率は、70%程度で推移している。また、少子化等の影響により、部員数は減少傾向である。特に文化部活動は、減少傾向が顕著で、存続自体が困難となっている。また、部活動に係る教職員の負担が増加しており、かつ引率等でも負担増となっている。その上、指導の高度化や専門性が求められている。しかしながら、顧問となる教職員自体は、「担当する部活動は専門ではない」という割合が、80%と高くなっている。 吹奏楽部では地域部活動推進事業を受託し、事業を行ってきたが、コロナ禍のためイベント等が中止され、対外的な活動ができない時期もあった。また、休日における学校施設の開閉等施設については、教職員が関わらざるを得ない現状がある。		
事業目標	指導の高度化や専門化への対応、生徒の多様なニーズに応じた指導及び教員の負担軽減等がなされたかの把握を行い実現し、効果的な指導体制システムを新たに構築すること		
団体・組織等の連携	別添ポンチ絵参照		
拠点校等	南関町立南関中学校		
活動場所	南関町立南関中学校音楽室		
活動概要	外部指導者による休日部活動指導 アンケート調査等による課題や意見の把握		

○本事業による成果

種目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
吹奏楽部	0	0	12	20.5	10	9	16.5	17	6	5	96

地域部活動指導者の指導実績については、上表のとおりである。しかしながら、多くが顧問教員と2名体制で指導をしている状況であり、教員の負担感を軽減するまでには至っていない。

アンケートは、保護者向け、町内企業向けに実施した。結果については、別添のとおりだが、費用負担の在り方の課題、指導者確保の課題が表面化した。

○児童・生徒への指導に関する工夫

平日に指導する顧問教員と、休日に指導する地域指導者が一貫した指導を行うために、定期的(年6回程度)な指導者会議を行い、連携を図った。

また、社会を明るくする運動推進大会の演奏時に、地域指導者が指揮者をするなど、町イベントなどでも、連携を図った。

○運営上の工夫

部活動の地域移行では事業の周知が大事である。教育委員会では、学校と保護者とのつなぎ役として、PTA総会やPTA役員会に同席し、部活動の地域移行及び指導者についての説明等を実施した。また、町部活動検討委員会（年4回）や地域部活動指導者会議（年5回）でも、協議を重ねた。後述の令和5年度からの方針・計画についても中学校と打合せをし、保護者や外部指導者へ周知し、スムーズな地域移行に向けて働きかけた。

○継続的な運営に関する課題

①指導者確保の課題（部活動の時間帯）

文化部活動については顕著であり、専門性を有する指導者の確保が課題である。このことから今回、企業向けアンケートやヒアリングを通して、指導者確保に向けて取り組んだ。その中で、部活動の時間帯について大きな課題となった。夕方からの部活動だと、どうしても勤務時間と重なり、指導者確保が困難になる。しかしながら、夜から始まる部活動になると、部活動加入率が低くなる。そのメリット・デメリットを勘案し、教員と生徒、指導者が満足の行くような部活動とすることが課題である。

②金銭面の課題

本町の現状では、献身的で熱意のある外部指導者に恵まれている。しかし、多くがボランティアに近い状況で指導をされており、持続可能性について考慮すると、現在の指導者が世代交代する際は、確保が困難になる。また、指導者への謝金が必要であるが、町財政と保護者負担の線引きをどうするかが、課題となる。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

本町では、令和8年度から部活動を完全に地域移行することを目標に、生徒、保護者や外部指導者、教職員へ説明をしていく。そのために、令和5年度は、モデル部としてバドミントン部を設定し、完全に総合型地域スポーツクラブへの移行を目指す。なお、他の部についても、休日は教員が指導を原則行わないよう徹底をする。

また、令和5年度実証事業の取組項目を通して、コーディネータを総合型地域スポーツクラブに委託し、今まで教員が担ってきた業務（登録事務、保険事務）を行い、教員の業務負担軽減を目指す。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	南関中学校吹奏楽部9名
	募集方法	年度初めに行われる部活動募集
指導者	人数等	退職教員 1名
	募集方法	退職教員からの紹介
参加者の移動手段		中学校音楽室で部活動をしているため、移動手段は必要なし
活動費用	指導者謝金等	謝金:1,600円／時間
	その他	中学校音楽室で部活動をしているため、施設使用料は無料である
活動財源	会費	休日の地域部活動に対する会費は0円
	その他	学校部活動の部費として、1人あたり16,000円／年間
スケジュール	基本活動	平日(2時間):月曜、火曜、水曜、金曜 休日(3時間):土曜
	年間	・関所健康マラソン大会演奏 ・ぎおんさん(町内の祭)演奏 ・南関町文化祭演奏 ・ふるさと関所まつり演奏 ・陶器・梅まつり演奏 ・社会を明るくする運動推進大会
保険加入等		スポーツ安全保険(800円／年)

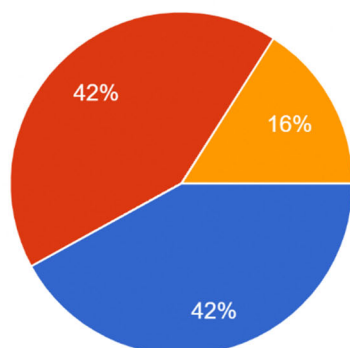
【活動の様子（写真添付）】



保護者向けアンケート結果

子どもさんの学年は？

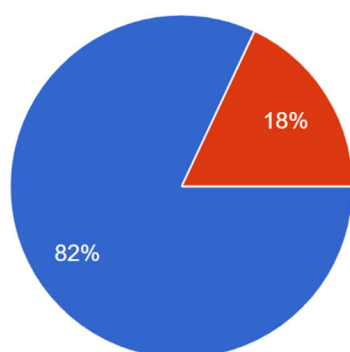
50 件の回答



- 1年生
- 2年生
- 3年生

部活動に所属していますか？

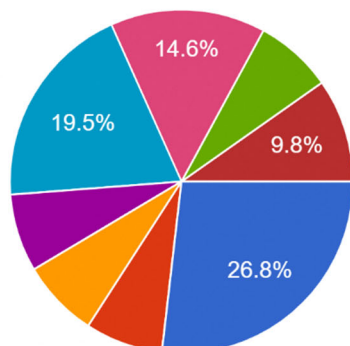
50 件の回答



- 所属している。
- 所属していない。

どの部活動に所属していますか？

41 件の回答

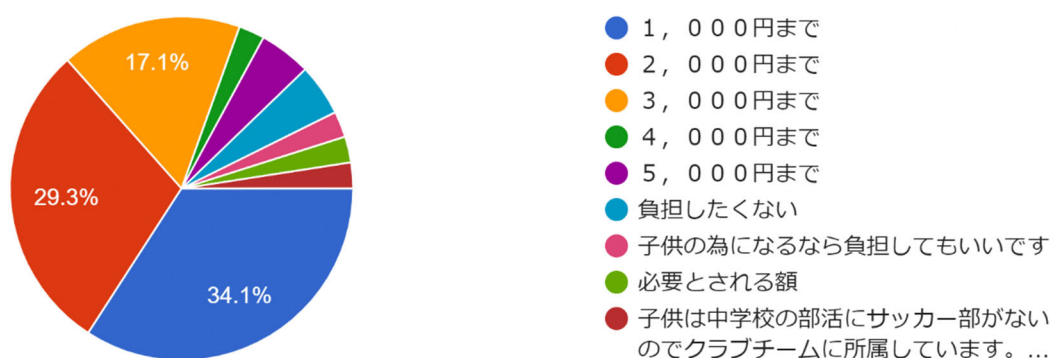


- 陸上競技部
- 軟式野球部
- ソフトテニス部
- バレーボール部
- 卓球部
- バドミントン部
- バスケットボール部
- 吹奏楽部
- 美術部

今までの「学校単位」の部活動は、教職員の支えにより、指導料が生じず、部活動費が比較的低額になっていました。しかし、休日の「地域単位」の部活動の場合、地域指導者への謝礼金、施設使用料、保険料などの費用が発生し、部活動費の金額が上がるのが想定されています。このことを踏まえて次の問いです。

休日の地域部活動に係る費用（指導者への謝礼金...すか。休日の週1日、月4日を想定しています。

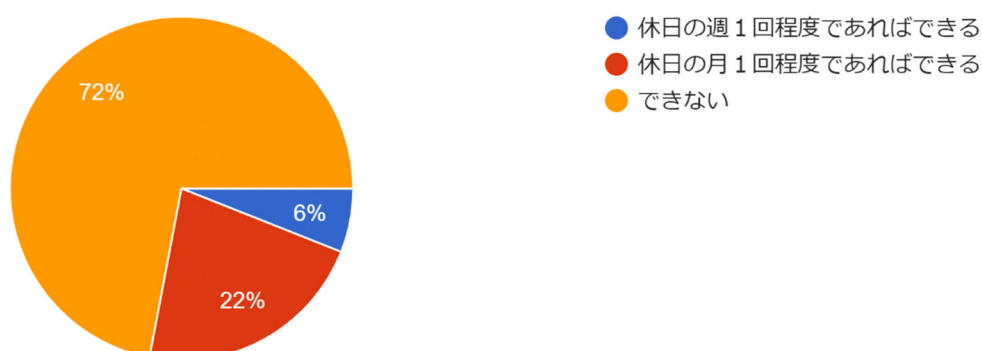
41 件の回答



今まで、教職員の指導で成り立ってきた「学校単位」の部活動を、「地域単位」の取組とするには、「地域指導者をどう確保するか」という大きな課題があります。町では、指導者の確保のために、部活動指導に興味のある方と中学校をマッチングする仕組みを検討しています。このことを踏まえて次の問いです。

休日の部活動の指導やサポートに協力できますか。（個人が特定されることはありません。）

50 件の回答



部活動が地域に移行することについての思いや意見などがあればご記入ください。（自由記述）

--

試合等の調整や、今まで試合運営に先生方が入られてましたが、それも保護者がすることになるのか？仕事もあり、保護者の負担が増えるのはあまり嬉しくない。ただ、子どもの事を考えると部活動はあって欲しいので複雑です
今ある部活の全てに、地域から指導してもらえる人がいるのかが疑問です。指導者がいなければ、廃部になることもあるのでしょうか？ そうなれば、その部に入っている子達がかawaiiそうです。 指導者への謝礼金は必要だと思います。しかし、部員の人数の多い少ないで保護者の負担の差があれば、好きな部活へ入れなくなる子も出てくると思うので、行政からの補助などにも必要になるのではないかと思います。
睡眠時間が少なく朝食も食べれずに朝練に行ってるので朝練をなくしてほしい。 睡眠時間がないと学校生活に支障が出るからなくしてほしい。
学校での部活動に関して、いろいろな問題点があるのは承知していますが、個人的には地域への完全移行には懐疑的な立場です。 特に憂慮する点は ①地域活動とした場合、指導者の量的、質的な確保の難しさがあること ②地域活動となった場合、家庭の状況等によっては学校での部活動に比べて入部しにくいという状況が生まれるのではないかという懸念があること の2点です。
指導者や練習場所が確保出来るのであれば問題ないと思う。ただ、平日と休日で指導者が変わることによって指導方法が異なったとき子どもたちが戸惑うと思うので、統一してもらえればよいと思う。
地域に移行すると学校との連携やいろいろと大変な事もあるかと思いますが、子供達が部活動を通して学んだり楽しめる環境を作ってあげてほしいです。
出来るだけ早く移行して頂きたいです。担当の先生のレベルの低さに、失望させてます。
地域に指導者がいらっしゃって、顧問の先生との連携がとれていけば地域に移行してもいいと思います。 大会や練習試合等の休日の活動はどうなるのか等の問題はありますが。
小学生の時にもエーライフを通じてスポーツをしていたので中学生もそのように学校外で行うことは私自身は苦ではない。
文科系の部活が無くなるのが心配です。スポーツが苦手な子どもの活躍の場があっても良いと思う。
いいことだとは思いますが、大会や試合の引率は学校側からも出て頂いた方が安心します。
地域に移行すると、入会金と月謝が発生するので、強制参加ではなく自由参加を必須にしてほしい。練習時間も夜だと送迎になるため時間厳守でお願いしたい。強い弱いに関係なく、レベルに合った指導をして欲しい。

別添ポンチ絵 熊本県南関町の地域部活動推進事業における実施体制

実践研究における期待される効果

1) 子どもにとっての影響

- 学校で出来なかった活動ができる。活動の選択肢が広がる。
- 文化活動の専門性が高い指導を受けられる。
- 様々な価値観を持つ人との交流（ナナメの関係の構築）のなか、成長できる。

2) 学校・教員にとっての影響

- 部活動指導の負担が減る。今以上に、授業準備など本来の業務に携われる。
- 地域との関係性が強まる。部活動以外にも連携しやすくなる。

3) 地域にとっての影響

- 地域の文化活動が活性化する。（指導者も愛好者も増える。）
- 地域のなかでの連帯、関係性、ソーシャルキャピタルが向上し、部活動以外にも波及する。
- 民間企業等にとっては、ビジネスの活性化につながる。

実践研究における想定される問題・課題

1) 子どもにとっての影響

- 過熱化につながり、怪我やバーンアウトが懸念される。
- 家庭の負担が高まり（費用や送迎）、一部の生徒は家庭の状況により参加できなくなる可能性がある。

2) 学校・教員にとっての影響

- 地域との連携・協力体制がうまくいかないと、クレームなど、かえって負担は増える。
- 生徒の部活動を通じて関係性づくりや生徒指導が出来にくい。

3) 地域にとっての影響

- 受け皿となる地域団体等における負担が増す。（安全管理、会計等）
- 人口減少で子どもの減少も相まって、支える側と受ける側のバランス維持が出来なくなる。

検討委員会で想定される問題・課題を解決し持続可能な地域部活動を目指す

南関町教育委員会

PLAN
計画

- ・検討委員会の設置（課題の分析、方向性の検討）
- ・地域部活動の体制づくり
- ・指導者育成の検討 等

DO
実行

- ・アンケート、ヒアリング、詳細な実態調査
- ・地域部活動への指導者派遣
- ・指導者育成の研修会開催 等

ACTION
改善

- ・評価等を踏まえた、プランの見直し、再構築、次年度へ向けた体制整備及び取組への反映

CHECK
評価

- ・調査結果の分析
- ・実践した内容の評価・検証
- ・令和5年度の持続可能な地域部活動に向けたプランの作成

久留米大学

- アンケート集計及び分析
- ・アンケート集計・結果に対する分析

サポート

- ・指導者選考及び推薦
- ・研修および会議へ参加してもらい、意見をいただく。

南関町文化協会

NPO法人A-lifeなんかん

連携

- ・定期的な会議の実施
- ・課題の共有
- ・指導方針の打合せ
- ・生徒の状況共有

地域部活動指導者

南関町立南関中学校